



e-Administration
Advisor Club

会報 わかくさ

第15号

2016年 4 月 発行

自治体や中小企業のさまざまなITの
お悩みをベテラン集団が解決

<http://eaac.sakura.ne.jp/>

わかくさ抄

～現在 過去 未来～

私が大学を出て、現在にいたるまで約50年経った。その間、ずっと通信システムとインターネットに関する技術開発を行ってきた。この間、これらに関する技術の進歩には目を見張るものがある。これについてここでは簡単に要約してみたい。

まず、今から約50年前であるが、私は大学を出てすぐ電電公社(現NTT)の研究所に入った。その時の通信に関する技術開発は世界のどの国でも、デジタル通信とそれを支えるLSIが中心であり、その後すぐ光通信が加わって「デジタル・光・LSI」が標榜された。私も配属先でほとんど光通信の技術開発を行うことになった。幸いにも、これら3つの技術はどれも成功し、現在のITの基盤となっている。しかし、今や若者の間では光通信とかLSIとかの言葉を知る人も少なく、かろうじてデジタルという言葉を知っているぐらいではなからうか。すなわち、今から50年前から25年前の25年間は「通信の時代」とも言えよう。

次に、25年前であるが、このあたりからインターネットが登場した。この開発理由は、電話のネットワークではなくて、当時想定されていた核戦争でも「生き残るネットワーク」の実現であった。すなわち、分散型のパケットのネットワークである。米国の国防省と大学が中心になって開発が進められた。通信技術者の立場からは、この分散型のネットワークは、決して「毛並み」がよいとは言えない代物であったが、幸いにも時を同じくして光通信が登場し実用化されたので、これをベースに世界中にまたたく間に広がり、今のインターネットになった。ほとんどしてこのインターネットを用いているいろいろのビジネスが考えられるように

なった。特に、インターネットの広告と商品販売は今や他のビジネスを凌駕するものとなっており、AmazonとかGoogleという企業が生まれたのはご存じのとおりである。この時代はコンピュータの小型化、パーソナル化の時代でもある。ビジネス用の大型のコンピュータが個人の誰でもが持ち運びできるいわゆるPCになり、その発展形として現在のタブレットとスマートフォンがある。これらを含めて、この25年間は「ITとサービスの時代」ということができよう。

とういうことで現在に至っているが、では次の25年間はどんな技術とかビジネスが生まれるだろうか。すでにいくつかの技術の芽が出ている。その中の一つが「ロボット」であろう。これは物理的に人間を助けるものになっていくであろう。すでに、囲碁では「囲碁ロボットが人間に勝つのはかなり先」と思われていたものが、世界のトッププロ棋士を破るまでになってきている。これらを含めてこれからは楽しみの25年間であるが、忘れてならないのは、エネルギーと環境問題である。これらの問題は地球上の人類を含む生物の前に大きく立ちはだかっている。もう一つ忘れてならないものに人間の心の問題がある。これだけ技術が進んだ今でも世界中のいたるところで戦争とか貧困(特に子供達)の問題がある。これらの問題もやがて学習ロボットが解決してくれることになるのであろうか。はたしてこの25年間は何の時代と呼ばれることになるのであろう。



e-AAC 副理事長
小山 正樹

今月のピックアップ！

『明日香村ブロードバンド環境整備に関するニーズ調査』の受託

【委託先】：明日香村役場から依頼を受けた近鉄ケーブルネットワーク(株)様から受託しました。

【期間】：H27年12月10日～H28年3月25日

【業務内容】：明日香村ではブロードバンド通信環境が未整備の状況です。この地域に高速通信ネットワーク環境の整備により村民をはじめ来村者にどのようなメリットのあるサービスが提供できるかを調査します。

『第一学院高等学校卒業式』に出席

3年生に「夢授業」を実施した“ご縁”で、3月9日の卒業式に招待されました。卒業生は30名で、それぞれ、就職、大学へと巣立っていかれました。



【卒業生たち】

『平成27年度奈良県地域貢献活動支援事業』に提案し、採択される

e-AAC 提案の事業が採択され、橿原市教育委員会の協力を得て推進することになりました。

【事業名】：親子で学ぶパソコンの構造・機能

【協働事業】：橿原市教育委員会社会教育課

【実施場所】：橿原市の公民館4カ所

【期間】：平成27年9月1日

～平成28年2月28日



【パソコンの分解】

『(一般財団法人)草の根サイバーセキュリティ運動 全国連絡会 Grafsec-J の全国会員』として認められました

これまでの e-AAC の「スマホとモラル」の啓発活動が評価されて「Grafsec-J」の全国会員として認められました。

【"Grafsec-J"の活動の理念・目的】

- セキュリティ、モラル、消費者問題についての啓発活動
- 地域活動を継続的、効果的に実施するための支援
- 課題の共有、地域の新たな課題の収集



【安田 Grafsec-J 代表理事】

「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

第1部会では自治体会員を定期的に訪問して、行政の情報化支援を行っています。

1. 自治体会員への巡回サービス

e-AAC の7つの自治体会員を定期的に巡回訪問して、『ちょっとアドバイス』を行っています。

(1) 現在の自治体会員

- ◎ 天理市
- ◎ 葛城市
- ◎ 大和郡山市
- ◎ 奈良市（準会員）
- ◎ 大和高田市
- ◎ 橿原市
- ◎ 国保連合会



【大和郡山市 ちょっとアドバイス】

* これをきっかけに、e-AAC の提案が奈良県地域貢献活動支援事業に採択され、橿原市教育委員会との協働事業を行うことになりました。今後もe-AAC のこれまでの実績を踏まえ、色々な提案をしていく予定です。

(2) 『ちょっとアドバイス』検討事例

- ・地域文化活動の情報化支援の取組
- ・マイナンバーシステムの評価・課題など
- ・マイナンバー 自治体における対応と課題など

(3) 平成27年度『ちょっとアドバイス』実施回数: 51回

2. 天理市地域情報化支援事業

(1) 委託元: 天理市情報政策課

(2) タイトル: 『インターネット楽サロン』

- ・「人が人を元気にさせる。インターネットでいつもそばに」
- ・安心安全なまちづくりにインターネットが使われ始めている。インターネットに親しみ、楽しむ集いに参加して、参加者が話し合い、助け合いながら楽しめる集まりを促す。
- ・地域住民の情報発信力を高め、住民の参加を促し、住民の参加の仕組みづくりを支援する。
- ・地域の活性化に寄与する。

(3) 対象: 天理市民

(4) 講座日程:

3/8、3/10、3/15、3/17、
3/22、3/29 の6講座、
時間: 午後1時～4時

(5) 場所:

天理市本通商店街内



【天理市産業振興館にてインターネット楽サロン】

3. 明日香村ブロードバンド環境整備に関する住民ニーズの調査

(1) 委託元: 明日香村、KCN

(2) 本調査の目的

明日香村の山間部のブロードバンド環境整備が遅れており、住民のニーズを調査する。「夢ある明日香づくりの政策体系」にある様々なビジョンや施策を、“先進的な情報技術”を活用して実現するための情報化計画の策定・実行に役立てることを目的とする。

(3) 対象: 明日香村山間部 約200所帯

(4) 作業内容:

アンケート票を配付し、訪問して、ヒアリングをしながら回収。データを分析して提言する。

期間: 平成27年12月10日～平成28年3月25日



【明日香村役場にて意見交換】

4. 大和高田市「広報誌」e-AACの頁を紹介

平成26年8月号より、「ICT市民講座」を連載してきましたが、平成28年4月号で、一旦終了します。

掲載月	題名
26/8月	ネット被害から子どもを守る活動
.. (省略)
27/1月	ネット時代の子どもたち/学校教育
2月	ネット時代の子供達/タブレットと電子黒板
3月	SNSが地域社会を考える(上)
4月	SNSが地域社会を考える(中)
5月	SNSが地域社会を考える(下)
6月	子どもとインターネット社会
7月	マイナンバーの解説
8月	民間業者もマイナンバー対応の準備を
9月	利便性か、安全性か、問われる「WiFi」
10月	広がるネット社会 幼児がスマホを使う
11月	広がるネット社会 ICTの格差社会
12月	広がるネット社会 ICTの光と陰
28/1月	Windows 10のアップグレードは大丈夫?
2月	地方創生: 活力あるコミュニティ
3月	スマホとモラル&セキュリティ
4月	インターネットと生活

「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

『読み、書き、そろばん』の子ども教育の基本は、これからも変わることはないでしょう。一方、タブレットやスマホを使った教育では『インターネットと ICT の見聞』を広げることによる狙いがあります。そのためには基本能力としてパソコン力を高める必要があります。その意味から、われわれは従来からのパソコンを使った ICT 授業は欠かせないと考えています。なお、平成 28 年度は電子黒板、タブレット、スマホのコラボ授業が中心になると考えられます。

■平成 27 年度「学校 ICT 支援」実績

(実施月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
クラブ活動		2	7			3	4	6	2	2	3		29
授業支援						3		3	3	2	3	3	17
ひまわり学級			1	1		2	1					1	7
スマホ講座	2	1	11	14	1	1	9	3	5	7	2		56
ものづくり教室							1	3	1	2	4		11
プログラミン		1								3			4
計	2	4	19	15	1	9	15	15	11	16	13	4	124
奈良市教	・佐保台小・西大寺北小・伏見小・伏見南小・帯解小・大安寺小 ・富雄南小・朱雀高校・王寺工業												
奈良市以外	・柳本小・下田小・真美ヶ丘第一小・高田盤園小・生駒北中・生駒小池												

■スマホ・ケータイ啓発出前講座 56 回:7,991 名

1. 奈良コンソーシアム助成金講座 25 回:4,573 名

27 年度上期実施					
1	6/19	郡山西中	14	11/12	富雄中
2	6/26	郡山南小	15	11/19	郡山北小
3	7/19	生駒北中	16	12/14	生駒南小
4	7/10	新庄中	17	12/16	高取町民生児童委員
5	7/13	生駒大瀬中	18	12/18	五條市阪合部小
6	7/13	生駒大瀬中	19	1/12	前栽小
7	7/14	真美ヶ丘第 2 小	20	1/13	榛生昇陽高校
8	7/16	纏向小	21	1/14	新庄小
9	8/10	宇陀市榛原中	22	1/15	富雄南小
10	9/10	真美ヶ丘第一小	23	1/27	朱雀高
11	10/5	大安寺小	24	2/9	広陵東小
12	10/8	大宮小	25	2/17	平城小
13	10/27	新庄北			

2. 遊戯協同組合助成金講座 25 回 1,966 名

27 年度上期実施					
1	6/18	鹿ノ台小-1	14	7/25	大宮まつり-4
2	"	鹿ノ台小-2	15	10/2	狭山東小-1
3	9/19	矢田小	16	"	狭山東小-2
4	6/26	郡山南小	17	10/8	大宮小-2
5	6/30	帯解小-1	18	10/15	矢田小
6	"	帯解小-2	19	10/16	柳本小-1
7	7/7	高田浮孔小-1	20	10/16	柳本小-2
8	7/7	高田浮孔小-2	21	11/26	第一学院
9	7/8	伏見南小	22	12/6	おかえり
10	7/15	高田盤園小	23	12/7	大安寺小 保護者
11	7/25	大宮まつり-1	24	1/22	都跡小-1
12	"	大宮まつり-2	25	1/22	都跡小-2
13	"	大宮まつり-3			

3. ドコモ助成金による出前講座 6 回 1,452 名

27 年度上期実施 計画完了					
1	4/15	聖心学園中等部	4	6/3	王寺工業高
2	4/16	真美ヶ丘中	5	6/12	室生中
3	5/15	安堵中	6	6/16	下田小

■子どもゆめ基金 整理番号:1522175

	実施日	会場	テーマ
1	10/17(土)	三笠公民館	親子「パソコン教室」
2	11/25(木)	第一学院	子ども「パソコン教室」
3	1/24(日)	あやめ池公民館	親子で学ぶ「パソコン教室」

■奈良県地域貢献活性化助成金授業 橿原市教育委員会 協働事業

	実施日	会場	テーマ
1	11/21(土)	耳成公民館	親子で「パソコン構造と機能を学ぶ」
2	12/26(土)	畝傍公民館	親子で「パソコン構造と機能を学ぶ」
3	28/1/16(土)	香久山公民館	親子で「パソコン構造と機能を学ぶ」
4	28/2/6(土)	真菅公民館	親子で「パソコン構造と機能を学ぶ」

■ドコモ市民活動「こども分野」助成事業 27 年度報告

計画	26/12	27/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
スマホ講座	5	2		1	2	1	3						14
特別学級		1	2					1	1	1			6

■タブレット授業研究会 *タブレット授業始まる

西大寺北小学校	・ パソコン教室の 40 台全数がタブレットに代わる ・ 校内持ち出し可能となり各教室で授業とパソコンクラブで使う
ひまわり学級	・ パソコンを楽しむ : 6/23 -1 限 7/7 -1 限 ・ タブレットを楽しむ : 9/8 -1 限 9/29 10/1 -1 限 2/25 -1 限 3/3 -1 限 < 自分紹介 / 1 年間の思い出 / カメラ画像に絵を描く >
クラブ活動	・ パソコン活用 : 6/22 6/29 9/14 ・ タブレット活用 : 9/28 11/2 11/30 1/25 2/15 ・ パソコンの構造と機能 : 2/8 2/15(科学クラブ)
3 年生授業	・ タブレット活用 : 9/29 ×2 限×3 組 = 6 限 11/9 ×2 限×3 組 = 6 限 12/11 ×2 限×3 組 = 6 限 2/26 ×2 限×3 組 = 6 限 3/7(欠席者補習 2 限) < パワーポイント/ワード/エクセルでカレンダー/思い出づくり >

■平成 28 年度「学校 ICT 支援」計画:122 回

ICT 授業支援	27 年度実績:	28 年度計画:
1 クラブ活動支援	29 回	30 回
2 学年授業支援、タブレット含む	17 回	15 回
3 特殊学級	7 回	7 回
4 スマホ・ケータイ啓発出前講座	56 回	50 回
5 ものづくり体験	11 回	15 回
6 プログラミン	4 回	5 回

「マーキーことば教室」(英語リスニング)教材の検討

1	パソコンを使った「リスニング教室」 ・ 親子英語日曜教室の検討	園児、小学生	地域公民館
2	スマホを使って「リスニング勉強」 ・ 「歩きながら」英会話の勉強 ・ 「ホーム」英会話の勉強	園児、小学生 中学生、大人	地域公民館 各家庭

ものづくり体験教室の研究

1	パソコンの構造と機能を学ぶ体験 ・ 分解パソコンの入れ替え整備	小中高生 大人	学校&地域公民館
2	パソコンのソフトウェア作りの体験 ・ プログラミン(文科省推奨) ・ ラズベリー3(プログラミング体験) [キット体験教室] 用機材の整備	小学生 中高生 大人	学校&地域公民館

「第3部会」からの報告 パソコン研修

パソコン教室では、受託事業と自主事業の二本立てで推進中です。受託事業の専門研修では、昨年度に実施した樞原いきいきタブレットは、本年度は実施されませんでした。新たな委託先として上期には生駒市から、下期には奈良市企業局、天理市から依頼がありました。シニア対象を中心としたパソコン入門教室では、受講者数が頭打ち傾向にあり、中級講座への変更、及び新たな中級教室の開催を行っております。

■ 受託『パソコン教室』

市町村職員研修では2月は昨年度より2コース追加となりました。シニア対象を中心としたパソコン入門教室では、受講者数が頭打ち傾向にあり、対策として一部のコースでは入門コースから中級講座に変更しました。

1. 奈良県市町村職員パソコン研修

2月実施分のアクセス基礎、エクセル応用コースでは受講希望者が多く、昨年度より各1コース追加し、各2コース実施しました(昨年度は各1コース)。その内エクセル応用では、マクロ強化コースを1コース新たに実施しました。



2. 樞原市耳成地区公民館パソコン教室

耳成地区公民館の協力が大きく、8回シリーズの講座を実施、最終日には館長から全受講者に卒業証書が手渡されました。



3. 天理市パソコン教室

天理市では、公民館を一巡するパソコン教室を開催しており、10月1日から10月30日、柳本公民館にて実施しました(各教室とも6回のコース)。

また、又天理市の委託を受け就労支援のためのパソコン教室を開催しました。11月20日から12月11日の間の6日間、ワードの基礎からエクセルの基礎と応用までを合計30時間で実施しました。

4. NTT 電友会パソコン教室

下期は大安寺ビルにて、パソコン応用講座(6回コース)を実施しました。応募者が減少傾向にあり、対策として従来の初心者コースから応用コースに変更しました。その結果大安寺教室では受講者数が昨年と比べ倍増しました。更に下期は年賀状コースを耳成地区公民館と大安寺ビルで実施しました。

5. 奈良市企業局パソコン研修

本年度初めて奈良市企業局の職員を対象にエクセル応用講座(2回×2日コース)を実施しました。内容は市町村パソコン研修と同じです。

1月末にはワード基礎、エクセル基礎を実施しました。



■ e-AAC 主催『パソコン教室』(自主事業)

各教室共に受講者確保が課題になっています。一方、広報誌に申し込み案内を掲載頂いた天理中級教室、高田教室は受講者が多く、広報の威力を再認識しました。

1. 大宮教室: e-AAC 大宮事務所

- 土曜パソコン教室(パソコン初心者向) 第1, 第3土曜日で12回コース
- 大宮事務所「何でも相談」 毎週、月曜日～金曜日まで実施

2. 学園前教室: 西部公民館

- パソコン教室 毎木曜日午後実施
- 専門コース: 年賀状コース・写真編集コースなど
- その他: パソコン趣味の会

3. 高田教室: 中和労働会館

- パソコン教室(パソコン初心者向) 第1, 第3水曜日
内容: パソコン入門、ワード・エクセル・デジカメ、インターネット
- 「何でも相談」 パソコン教室開催日の午後実施

4. 天理中級教室: 天理市市民会館

下期は11月13日から12月25日まで、天理市パソコン教室(初心者教室)の受講者を中心に、自主事業として中級講座(各6回コース)を実施しました。2016年3月～4月には6回実施予定(3月は3回)です。

■ 平成28年度上期の計画

	内容	回数	実施時期
受託事業	市町村職員研修	6コース×2日	9月
	耳成教室	8回(半日)	4月～8月
	天理市PC教室	6回(半日)	6月(予定)
	NTT電友会	8回(半日)	5月～8月
	ソムリエの会(*)	11回(半日)	6月～8月
	奈良市企業局(*)	2コース×1日	未定
自主事業	大宮教室	12回(半日)	3月～8月
	学園前教室	8回(半日)	4月～9月
	高田教室	10回(半日)	4月～8月
	天理中級教室	6回(半日)	3月～4月
		6回(半日)	7月(予定)

※(*)は予定

「第4部会」からの報告

e-AAC
ワークショップ

セミナーとワークショップ

『GIS Day in 関西【奈良】2016』

平成 28 年 3 月 20 日 (日)

於いて：奈良大学 総合研究棟 2 階

主催：GIS Day in 関西【奈良】実行委員会

今回は実行委員として活動しましたので、その実施内容を以下報告します。

自治体や企業・団体及び一般の方で統合 GIS や防災・減災はじめ安心・安全な地域づくりに関して基盤地図の利活用に関心のある方を対象に、これまで GIS ワークショップを行ってきました。直近では平成 25 年度にワークショップ『オープンデータとオープンソース GIS』を、また平成 26 年度には日本地図センターの研究活動等支援を得てワークショップ『オープンデータと GIS で考える地域の』を実施しました。また、昨年度までは奈良県電子自治体推進協議会との共催等で、主として自治体職員を始め NPO や企業団体の職員向けに座学のセミナーとパソコンを用いた実習を GIS 教育認定講座として実施してきました。今年度は地図および地図学の普及・裾野拡大のために『立体を科学する』をテーマに主として小・中・高校生に楽しく学んでもらう機会を提供する方式の活動を奈良大学地理学科始め GIS 関連企業と一緒に『GIS Day in 関西【奈良】2016』実行委員会にて入って活動いたしました。また、GIS の利活用に関して特に地域創生に応用したい人たちのために、“無料 GIS ソフトによる 3D 作成実習・体験”ワークショップと“大学と NPO の連携による地域創生の可能性”セミナーを開催しました。

▶ 開催イベント 1 (製作・体験コーナー)

新教材作成支援の体験をしていただきました。

▶ 開催イベント 2 (実習・体験コーナー)

無料 GIS ソフトによる 3D の作成実習と体験をしていただきました。

▶ 特別講演 1

「地域創生における大学の役割」

◎ 奈良大学地理学科専任講師 藤本悠 氏

人口減少に伴う様々な社会的課題について例や調査資料をもとに説明があり、その中で特に大学教育にかかわる問題についてどう取り組むべきか、検討中のキャリアパスについて NPO と大学との連携についての考え方や研究活動内容を詳しく説明されました。まだまだ試行模索の段階とのことでした。



【特別講演 藤本悠 氏】

▶ 特別講演 2

「環境系 NPO と大学との連携のあり方」

◎ NPO 法人アンダンテ21理事長 豊田武雄 氏

「NPO 法人アンダンテ21」は、森川海里の地域資源を資本とした地域活性化、環境保全を目的とした活動を実施しているとのこと。特に平成 27 年度より環境省事業委託として「協働取組による益田川下流域水質環境再生事業」をスタート、行政・NPO・企業・住民の協働取組活動の調整役を開始された。この事業推進をしていくうえで行政の各部署、さらには、NPO が調査・収集した情報、データを横断化させる手法として GIS 活用化を検討しているとのこと協働メンバーとなっている部局からデータ資料を集め、統合されたデータを共有し、基礎資料として住民参加による協働河川管理への実践活用に向けているとのことでした。また、情報公開の在り方や費用対効果の論議ができる対話のテーブル設置に現在取り組んでいるとのこと大変活躍されていて、多いに参考になりました。



【特別講演 豊田武雄 氏】

平成 28 年度 e=AAC ワークショップ情報

『IOT 関連ワークショップ』

～IOT で情報化社会が変わる～

企画検討中！ ご期待ください。

募集開始いたしましたら多くの皆様にご参加いただけるようご協力をおねがいします。また、開催テーマなどについて皆様のご要望、ご意見がありましたら、事務局までご連絡下さい。

GISday 「立体を科学する」

in 関西【奈良】2016

- 製作・体験コーナー (J-205 / J-206教室)
 - 地図に関わる様々なものを工作しよう！
地図作成や電子地図に関係する様々な機械をペーパークラフトで工作できる場所をご用意しています。
 - ガリバー体験をしてみよう！
赤青メガネで海底、陸上の地形が 3D に見える地図を、大型地図で展示します。
 - パズルで遊ぼう！
3D プリンタで出力した立体地図や等高線を学ぶためのお手製教材の作り方なども体験して頂けます。
- 特別講演 (通信教育部棟2階)
 - NPO と大学による地域創生のあり方
 1. 「地域創生における大学の役割」
(奈良大学文学部地理学科専任講師 藤本 悠)
 2. 「NPO 法人 アンダンテ21 の活動」
(NPO 法人アンダンテ21 理事長 豊田武雄)
- 展示・相談コーナー (J-207教室)
 - 大学の先生に聞いてみよう！
私たちの生活に生かされている電子地図について色々聞いてみよう。
 - GIS 関連会社の様々な技術を見てみよう！
様々な技術を持った企業が一同に介して、電子地図や 3D に関わる技術を紹介します。
- 実習コーナー (J-201 / J-208教室)
 - ESRI ジャパンによる ArcGIS 講座
 1. 「等高線を立体化してみよう」
 2. 「インターネットで GIS を使ってみよう」
 - 奈良大学地理学科教員による
 3. 「無料ソフトによる 3D 作成体験」

対象：小学生～高校生
日 時：2016年3月20日(日) 10:00-16:30

詳細はコチラ↓
QRコード

事務局からの報告

e-AAC 平成 28 年新年会

平成 28 年 1 月 30 日 於：奈良県文化会館

第 1 部 講演会

【講師】奈良県観光局 ならの魅力創造課 中山典哉 氏

【テーマ】県政出前トーク『巡る奈良』

- ① 『今でしか拝観できない!』:奈良の社寺の秘宝や秘仏の特別開帳の情報など公開していただきました。
- ② 『歩く・なら』:歩いて味わう奈良の魅力や歩いて満喫するための情報を満載したホームページを紹介していただきました。



【奈良県 中山典哉氏】



【県政出前トーク 『巡る奈良』】

第 2 部 臨時理事会、臨時総会

法改正に伴う定款の変更、他

- ① 議案 1：e-AAC の主たる事務所の住所変更
- ② 議案 2：法改正に伴う定款変更

すべて、満場一致で承認されました。

第 3 部 活動報告会

各部長から活動の詳細報告がありました。

第 4 部 懇親会

各行事終了後、懇親会を行い会員お互いの親交を深めることができました。

☆編集後記☆

“わかくさ抄”小山先生の原稿を読ませてもらって、小生がコンピュータに携わり始めた現役の頃を思い出しました。当時 4bit Micro-Computer (MC) がこの世に出現してきて、これを使って計算機を設計してみると、ちゃんとプログラムどおり正しく計算するではないですか。それでこの MC を発想した人はすごいと感動した憶えがあります。その頃から、もう40年以上が経過したのですが、コンピュータ社会はハード・ソフト・システムなどがスパイラルになって想像外の進化を遂げている事は周知の通りです。今後も止まることなく進化し、終はないのでしょう。これは喜ばしいことですが一方、不安な面がたくさんあることを理解しなければなりません。そのためには多くの人々がコンピュータに親しく付き合えるだけの知識を日々身につけていくことが大切だと思います。

e-AAC のますますの活躍が期待されます。

(Masaharu SATO)

平成 27 年度『子どもゆめ基金』に採択される

e-AAC の活動が評価され、2 年連続の採択になりました。

【テーマ名】親子で学ぶパソコン(タブレット、スマホ)の仕組み
(パソコンの主なパーツから構造まで)

【実施場所】

- ① 10 月 17 日 奈良市三笠公民館
- ② 1 月 24 日 あやめ池公民館



【あやめ池公民館にて】

例年好評の 平成 27 年

『e-AAC 十大ニュース』の投票結果

新年会の参加者による投票の結果、次のように確定しました。

順位	投票数	★★ ニュース ★★
1 位	16 票	天理市地域情報化支援活動事業
2 位	15 票	明日香村高速通信基盤整備・運営に関する調査
3 位	14 票	新規パソコン教室の受注
4 位	13 票	今年度の収支の黒字化
5 位	12 票	西大寺北小学校タブレット授業支援
6 位	11 票	橿原市が U 自治体会員になる
7 位	10 票	スマホとモラルの出前講座
8 位	10 票	奈良市町村職員研修 8 年連続研修会の受注
9 位	7 票	こども夢基金事業の採択
10 位	6 票	e-AAC 新規会員

* なお、1 位表彰者は e-AAC 理事の寺村氏でした。

e-AAC 会員募集

- ◎ 正会員
- ◎ 個人会員
- ◎ 賛助会員
- ◎ 自治体会員

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。特に、企業・団体・機関の会員を増やしていきたいと思っております。事務局までご連絡ください。

Tel: 0742-36-8250

e-mail: e-aac@nifty.com

発行

特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集

e-AAC 編集部
(ご連絡先) e-mail: e-aac@nifty.com
ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/

協賛団体



南都銀行